

出演者のご紹介

天日倫代(ヴァイオリン 賛助出演)



東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。同大学在学中 Asian Youth Music Camp にてコンサートマスターを務め、Brett・Dean(元ベルリンフィル奏者)と室内楽等をも共演。同大学卒業後チェンバーオーケストラ【東京ゾリステン】へ入団。日本弦楽指導者協会主催・岩崎洋三(東京藝術大学名誉教授)による【ドント作曲24のエチュード Op.37】研究発表講座に於て全24曲 模範演奏。ワシントンD.C.郊外でリサイタルを開く。アメリカ国務省サロンに於てモーツァルトを演奏。現在はフリーにて演奏活動を行っている。元東京純心女子短期大学(現・東京純心大学)音楽科非常勤講師。

米沢(鎬木)陽子(オルガン 客員教授)



東京藝術大学大学院博士後期課程(バロックオルガン専攻)修了、博士号(音楽)を取得。主たる研究領域は16-18世紀ドイツのオルガン音楽。文化庁芸術家在外派遣研修員として渡独、シュターデオルガンアカデミーにおいて研鑽。国内外での演奏活動の一方で、ホスピス緩和ケア領域の音楽療法の実践と研究にも取り組む。聖ヨハネホスピス音楽療法士、カトリック山手教会および目黒教会オルガニスト、日本オルガニスト協会会員、日本オルガン研究会会員、関東学院大学非常勤講師、立教大学大学院キリスト教学研究科特任教授、東京純心大学客員教授。



女声合唱団ぴゅあはーと

東京純心女子大学音楽部の卒団生と同団指揮者によって2010年3月に発足。学校を卒業してもずっと歌い続けられる団、仕事や育児などで一度離れてもまた戻ってこられる団をコンセプトに、年齢や出身地、合唱経験もバラバラなメンバーが集まり、可愛くかっこいい女声合唱を目指している。これまでの委嘱作品に「a gift」、女声合唱とピアノのための「ジョセフ」、編曲委嘱作品に「ありがとう」(女声・ピアノ版)、女声合唱のための『宮崎駿アニメ映画音楽集』第1集および第2集(以上全て信長貴富作曲)がある。2025年4月20日(日)渋谷区文化総合センター大和田さくらホールにて女声合唱団ぴゅあはーと13th Concert 開催予定。

小松美智子(オルガン講座受講生)

子どもの頃よりピアノを学び、大学卒業後、合唱や器楽の伴奏、施設や保育園などで演奏。パイプオルガンの音色に感動し、東京純心大学公開講座にて学び始める。現在は研鑽を積みながら横浜関内のサロンにてオルガン会を開催したり、パイプオルガンやピアノのデジタル配信を行い、多くの人に音色を届けている。

山口玲子(オルガン講座受講生)

幼少よりピアノを習う。大学時代、友人に誘われプロテスタント教会に通い始める。まもなく洗礼を受け、日曜日の礼拝の奏楽を担当、教会のポジティブオルガン(移動式の小型パイプオルガン 手鍵盤のみ)を独学で弾いてきた。子育て中は地域のコーラスサークルやホームコンサートでの伴奏などピアノを弾くことが多かったが、年々、足鍵盤のあるパイプオルガンへの憧れが強まり、2020年から学び始める。

看護学部4年小澤久瑠美(トロンボーン)

合唱音楽履修学生(ハンドベル)

下里榛那、石上祥、石黒功多朗、岩佐奈美、茂原朱里、島崎結菜、宮澤沙奈、吉丸睦晃
荒木飛奈、石井美晴、糸胡桃、岸部夏歩
田中路(ハンドベル指導・指揮)